

アカペラ活動(グループ練習・サークル活動)における 新型コロナウイルス(COVID-19)対応ガイドライン

2020年6月22日(月)

一般社団法人 全日本アカペラ連盟

本ガイドラインについて

厚生労働省発表の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(2020年5月25日)をもとに、一般社団法人全日本アカペラ連盟として現在自粛しているアカペラ活動を今後再開していくためのものとしてガイドラインを作成した。再確認や活動再開に向けた学校等との交渉材料に本ガイドラインを使用することを推奨する。

本ガイドラインは、アカペラ活動経験のある医師・全国各地のアカペライベント団体・その他関係各位の意見等を十分に踏まえて作成されており、今後も必要に応じて適宜改定を行うものとする。

参考：厚生労働省 HP

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針

(2020年5月25日)



新型コロナウイルス感染経路

- ①飛沫感染(咳・くしゃみ・会話による感染)
- ②接触感染(手で触れることによる感染)

参考：厚生労働省 HP

新型コロナウイルスを防ぐには



一般的な予防方法

- ①3つの密(密閉・密集・密接)を避ける
- ②手洗いや咳エチケット
- ③目・鼻・口に不用意に触れない(肩から上は基本的に触れない)

参考：厚生労働省 HP

国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)



参考：厚生労働省 HP

新型コロナウイルスを防ぐには



アカペラ活動における基本的な注意事項

- ①アカペラ活動の前後では手洗い・うがいを徹底する。
- ②マイクやピッチパイプの共有はしない。使用する度に消毒する。
また、可能な限り「個人所有マイク」の使用を推奨する。準備が難しい場合は、マイクグリル単体、ウインドスクリーン等の積極的な利用を推奨する。
- ③マスクの着用に関しては「練習において歌にくい」等、アカペラ活動に不都合な点が多いが、やむを得ない場合を除き原則着用したまま活動を行う。
- ④練習・サークル行事・外部イベント参加前の検温、咳・熱(37.5度以上)・気だるさ・味覚嗅覚障害等の有無を確認し、少しでも疑わしい場合は参加を認めない。また、練習中・イベント中等に発熱などの症状が見られた場合は、速やかに隔離・帰宅を促す。
- ⑤アカペラ活動範囲内での飲酒・酒類の提供は原則行わない。

アカペラ活動におけるその他の注意事項

- ①サークル全体活動
各団体代表者は、所属大学等の方針を基本とし、最大限感染防止対策を講じる。
- ②ミーティング
基本的にオンラインでの開催を推奨する。実際に集まることが必要である場合は、必要最低限の人数で行うこととし20分～30分に一度窓を開けるなど換気を徹底し、1m～2m程度の間隔を空け、マスクを着用したまま行う。
また、「一般的な予防方法」「アカペラ活動における基本的な注意事項」に記した予防方法を講じた上での開催を推奨する。
- ③グループ活動
練習を行う場合は、屋外での練習を推奨とする。1m～2m程度の間隔を空け、向き合わず同一方向を向く形での活動を推奨する。
屋内で練習する場合は、1m～2m程度の間隔を空け、向き合わず、同一方向を向く形で行い20分～30分に一度窓を開けるなど換気を徹底し、使用機材のこまめな消毒を推奨する。

参考：厚生労働省 HP

「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法



イベント開催におけるガイドラインについて

現段階ではイベントに関して言及することは確定した情報が不足しているため難しくここでの明記はしない。今後の状況次第で、別途作成する予定である。

作成協力：医師 伊藤玲哉



AJAA
All Japan A cappella Association

